

つるつるいっぱい。

FUKUI
CITY
GUIDE

福井市
観光
ガイド



春

つるつるいっぱいに来てください。

お酒を器になみなみと注いで、
こぼれそうなのにこぼれない状態を、
福井では「つるつるいっぱい」と言います。
あふれんばかりのおもてなしの心が、
自然が、「うまい！」が、お待ちしております。
桜が色づき、街のあちこちを染めていく頃、
つるつるいっぱいの、いい春がやって来ます。

この桜は見た。
ずっと見ていた。

樹齢370年。江戸時代から現在まで。
移り変わる歴史を見つめてきた足羽神社の枝垂れ桜。
大空襲と大地震に打ちのめされても、
それでも立ちあがる人々をずっと見守ってきた桜。
だからでしょうか。この桜の前に立つと、
居住まいを自然と正しくなってくる気がします。



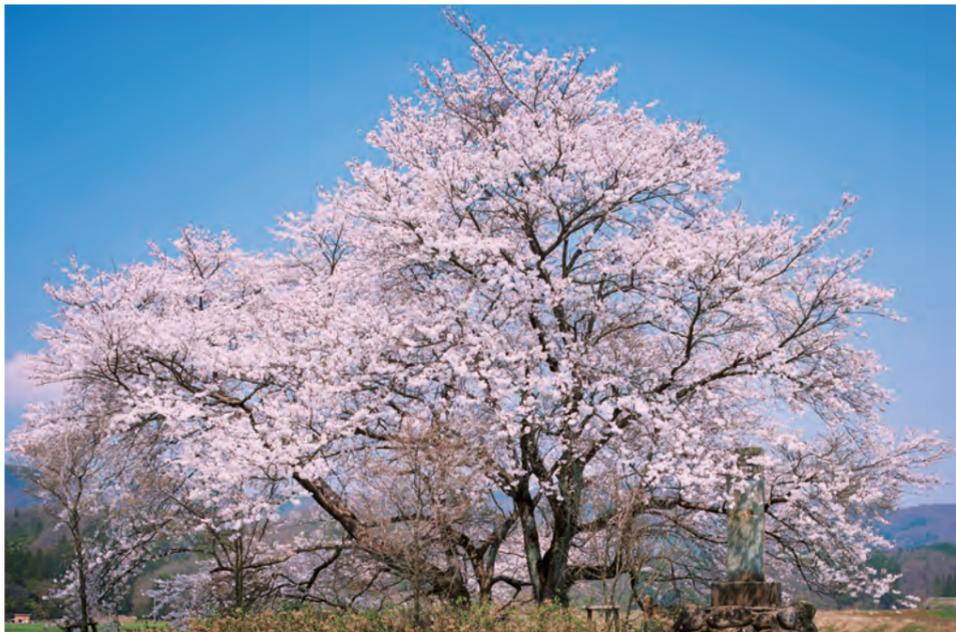
Asawa Shrine



1500年あまりの歴史を持つ足羽神社。あみくじも集まると枝垂れ桜みたいに見えるのは単なる気のせいかな？



西雲寺の枝垂れ桜。足羽神社の枝垂れ桜と並んで福井市の天然記念物に指定されています。三本揃う姿は圧巻です。



いわゆる有名な観光名所っぽくないところにも立派な桜があるのが福井です。志津川橋の脇にも、ほらこんな桜が。



福井藩主が本丸と三の丸御座所との往復に使用した御廊下橋。越前松平家の福井城はいま福井県庁となっています。

龍馬がわざわざ 会いに来た男。

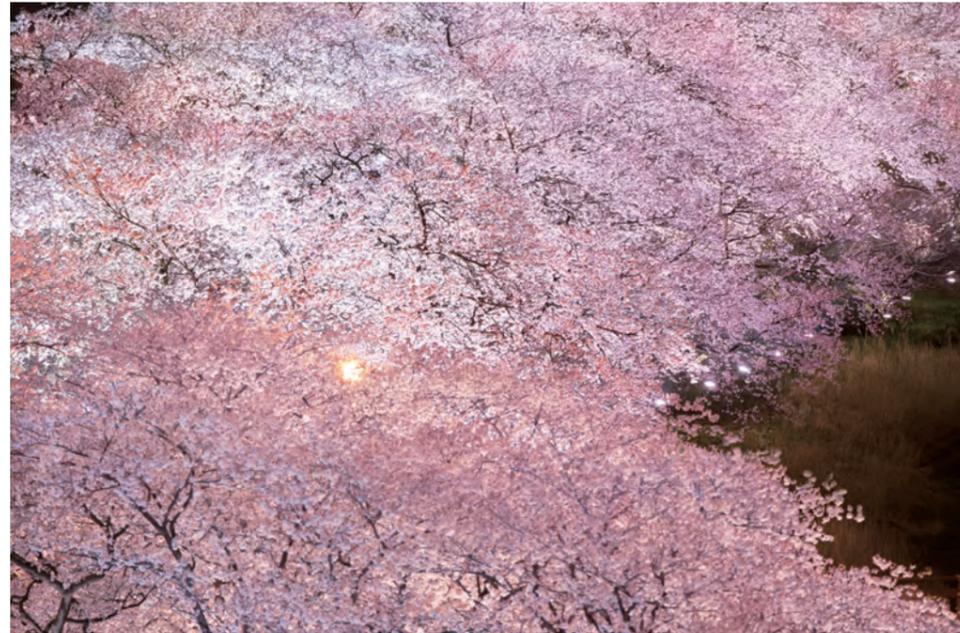
1867年、大政奉還を見届けた坂本龍馬は、福井藩の財政を再建した由利公正を訪ねました。新政府の財政を担えるのは彼しかいないと龍馬が高く評価する人でした。維新後、公正は五箇条の御誓文の起草にも参画。いまは足羽川のもとで、この国を見守っています。



Yuri Kimimasa (Kose) Square



全長2.2kmの桜のトンネル！足羽川の桜並木は、足羽山公園とともに「日本さくら名所100選」にも選出。



夜はライトアップされて、とにかく幻想的。ここまでの桜並木、きっと海外の人が見てもかなりビックリするはず。



この桜すぎる道を歩くたびに、ここに桜を植えた昔の人は本当にエライ！としみじみ思います。たぶん、あなたも。



暮れゆく空の色。明かりを映して揺れる川の水面。こういう舞台に桜がまた合います。写真撮りたくなりますよ。

問題。この電車の色は なんの色でしょう？

正解は、雨に濡れた笏谷石をイメージした色。
笏谷石は、福井で古くから採掘されていた凝灰岩の一種です。
浅葱色で、水に濡れると深い青色に変化します。
福井駅と一乗谷駅を約15分で結ぶJR越美北線の
一乗谷 DISCOVERY PROJECT のラッピング電車、
乗れるといいことがある、という噂も。



夏

福井に来ることを、「来福」と言います。

そう言われると、ちょっと縁起よくないですか？

きれいなものを見る眼福。

おいしいものと出会う口福。

福井に行くことは「行福」かもしれません。

これがただのダジャレじゃないことは、

来ていただけると、きっとわかります。

福井の夏は、福いっぱいのおいしい夏です。

全国でも珍しい
花火です、これ。

福井フェニックスまつりの
オープニングをドドンと盛り上げる
福井フェニックス花火は、日本でも珍しい、
街なかで見られる花火大会です。
足羽川の河川敷から街の上空へドンドンドドン。
花火が近い。っていうか目の前。迫力すごいです。





織田信長。有名。人気は高い。でも敗者の側から歴史を見るのも大事だと、ここに来ると思う。一乗谷朝倉氏遺跡。



京都、堺につぐ全国第3位の人口。文化の華咲く町だったそうです。1573年、もし織田信長が火を放たなかったら？



中央の花畑は日本最古の花壇。殺伐とした戦国時代にあって、花を愛でる心を持った人だったようです、朝倉さん。



一乗滝。佐々木小次郎はここで「燕返し」を編み出した、と言われています。たしかに、なにか思いつきそうな滝。



想像力と 来てください。

発掘された石垣や礎石どそのまま使い、柱や壁、建具なども出土した遺物に基づいて復原しています。ですが、基本、なにもありません。ないからこそ、「あった」が浮かび上がってくる。一乗谷のような場所、ありそうでなさそう。



夏恒例の越前朝倉戦国まつり。甲冑姿の武者たちによる火縄銃の砲演も人気です。生で見るとかなりの迫力ですよ。



うつむいてスマホ見てる人、この時間はきっと少ないはず。顔上げて上を見る。花火はそのためにもある。たぶん。



15000個を超えるキャンドルが一乗谷を灯す。越前朝倉万灯夜。あなたもキャンドルを灯しに来てみませんか？

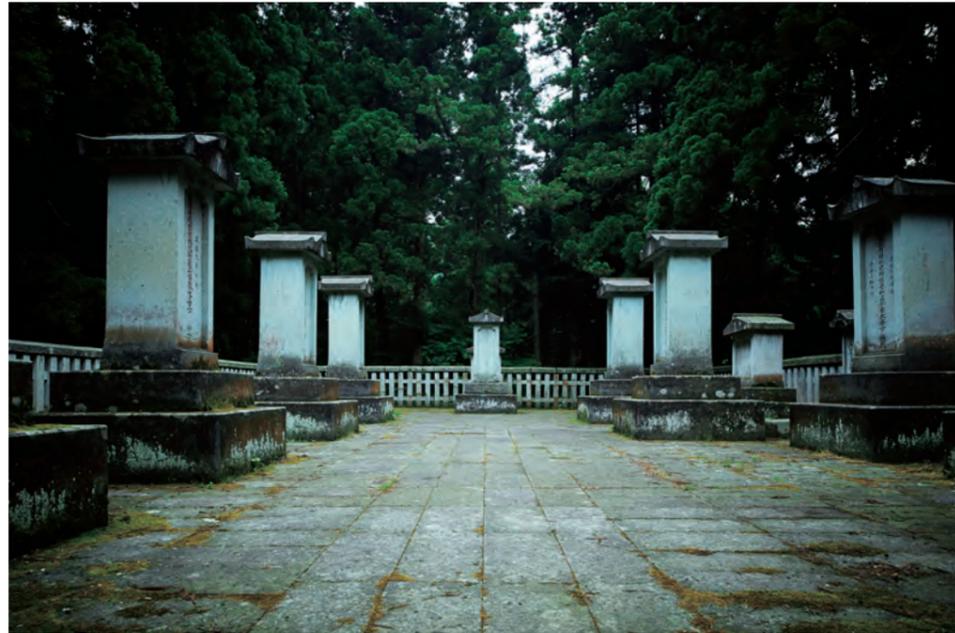


フェニックスまつり名物のYOSAKOIイッチョライ。歌い踊る人、見てる人、みんないい顔になるお祭りです。

そのお祭りには、 不死鳥が飛んでくる。

大空襲、大地震、大洪水。
三度の大きな被災を乗り越えてきた
福井市は、いつからかフェニックスを
シンボルにしてきました。
夏のフェニックスまつりには、
逆境や困難に負けないエネルギーが満ちています。

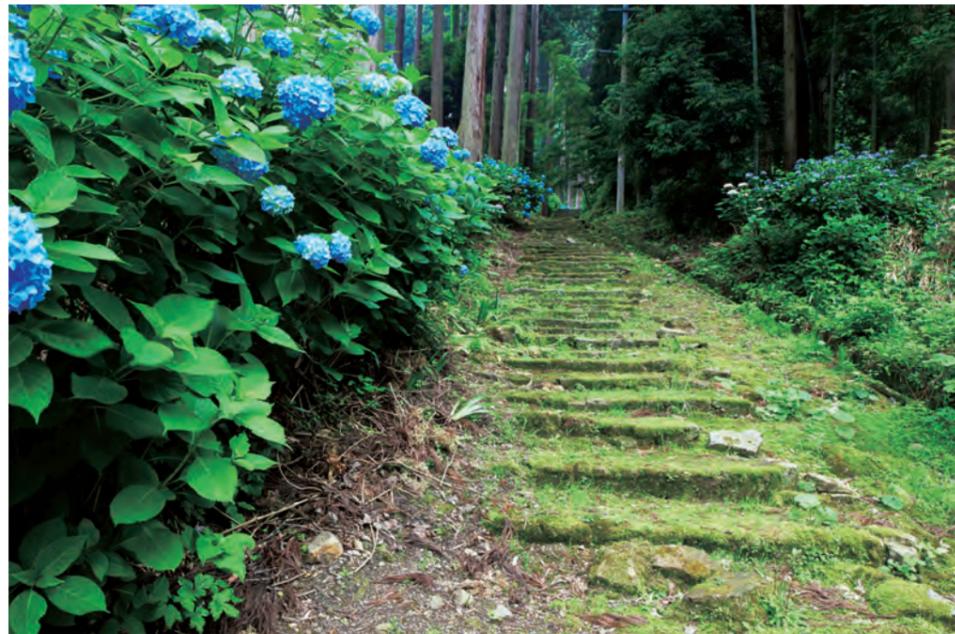




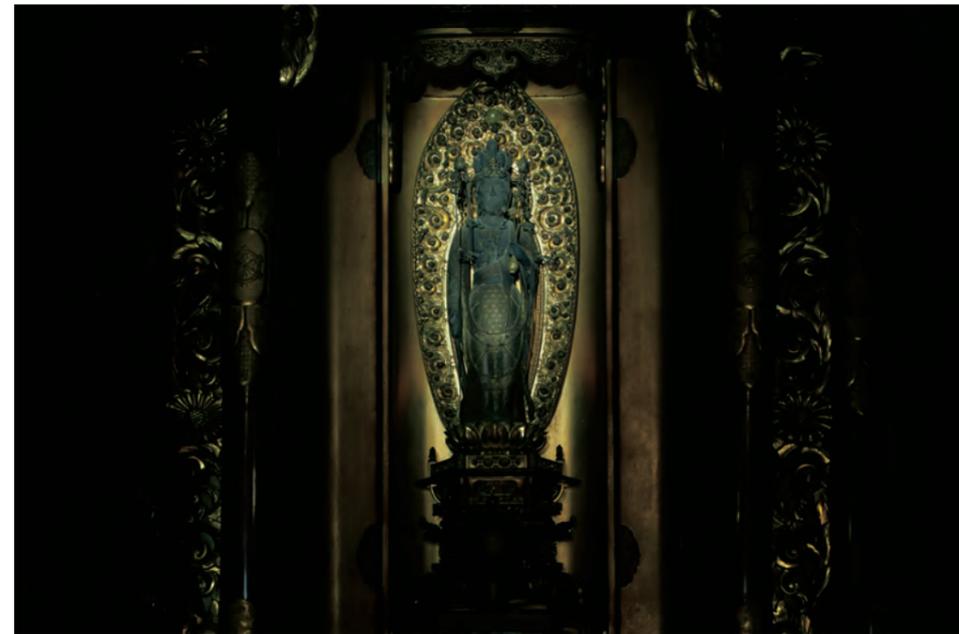
大安禅寺の山道を上ると、日本一の廟所と言われる「千畳敷」が。笏谷石でできた4m近い墓の大きさは圧巻です。



大安禅寺本堂から見える庭「阿吽庭」。枯山水の向こう側に見える苔庭との見事なコントラスト！カッコいいなあ。



大安禅寺本堂から千畳敷へと通じる道。静かです。あじさいがきれいです。マイナスイオンかなり多いと思います。



御本尊に十一面観音菩薩を祀る大安禅寺。こちらの和尚さんの法話はとても面白いと人気です。ぜひ聞いてみては？

モダンアートです。 350年ほど前の。

福井藩御用絵師、狩野元昭による襖絵です。
臨済宗の古刹、大安禅寺。
ここはもちろん、お寺ですが、
かなりカッコイイ美術館でもある。と言っても
パチが当たらないかもしれません。
もれなく至近距離でご鑑賞できますよ。





大安禅寺には菖蒲園もあります。寺の西の大地には60種類1万株の花菖蒲。咲き揃う6月はそれはもうお見事。



足羽山はあじさいの名所です。あじさいロードと呼ばれる山道には約5500株が。6月中旬から下旬が見頃です。



越のルビーは、福井名産のブランドトマト。大玉トマトより糖度が3~4度高く、ビタミンC、リコピンも約2倍。



福井の台所、福井市中央卸売市場。「よくい 鮮いちば」として、一般にも開放されています。あ、おなかすきそう。

福井で生まれ育つと、 他県の魚が食べられない説。

正面が日本海。だからでしょうか、
福井は海の幸がとにかくうまい！
冬の越前ガニはもちろんですが、夏は鯨やさざえ。
それから日本三大珍味のひとつ、
汐雲丹の解禁も7月です。
どうか、ほっぺたを落っことしに来てください。



秋

知らなかった、という幸福。

たとえば、名作と呼ばれる小説を

まだ読んでないと言って、

これから読めるなんて幸せだね、

と言われることがあるように。

はじめての感動は、予備知識が少ないほうが、

大きいのかもしれません。

福井への旅も、いっしょじゃないかな？

京都、金沢、いいところです。
でも、この国はそれだけじゃないんだな。

ここ養浩館庭園は、江戸時代に
御泉水屋敷と呼ばれた福井藩主松平家の別邸です。
さすがにお殿様の別邸だけあって、
秋になると、紅葉が、ほら、ご覧の通り！
苦しゅうない。さ、もっと近う近う。
お殿様気分て眺める秋も、格別ですよ。

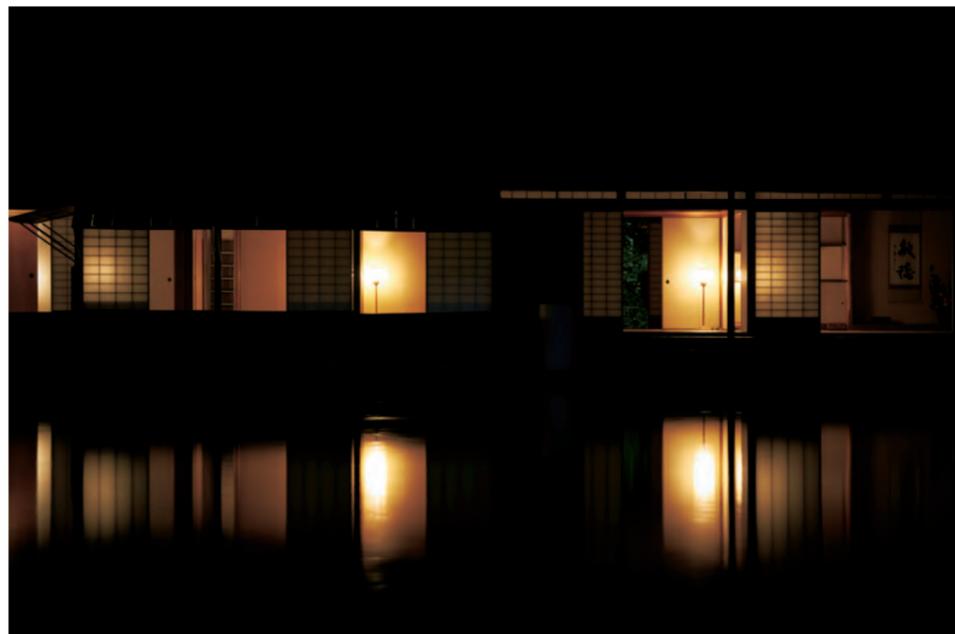




紅葉の穴場って、じつは福井かもしれないな。秋色に色づいた養浩館庭園をのんびり歩いていると、そう思います。



なにげない風景も、いちいち絵になるのは、やっぱりお殿様の別邸だから？世が世なら見られない場所ですもんね。



池に映る養浩館。日が落ちてからもまたいいんだなあ。侘び寂びというか、幽玄というか、光と闇の混ざり具合が。



石を愛でて庭に据えるセンス。考えてみるとスゴイです。自然がつくった紋様が美しい安島石を使った飛び石です。

世界の評価にちょっと弱い 日本人のみなさんへ。

養浩館庭園は、日本を代表する回遊式林泉庭園。
じつは、ここのお庭、海外の庭園専門誌の
「日本庭園全国ランキング」で毎年上位。
空襲で焼けて再建しました。
戦争はもうごめんです。本当に。
きれいな庭を見て、そんなことまで思ったり。





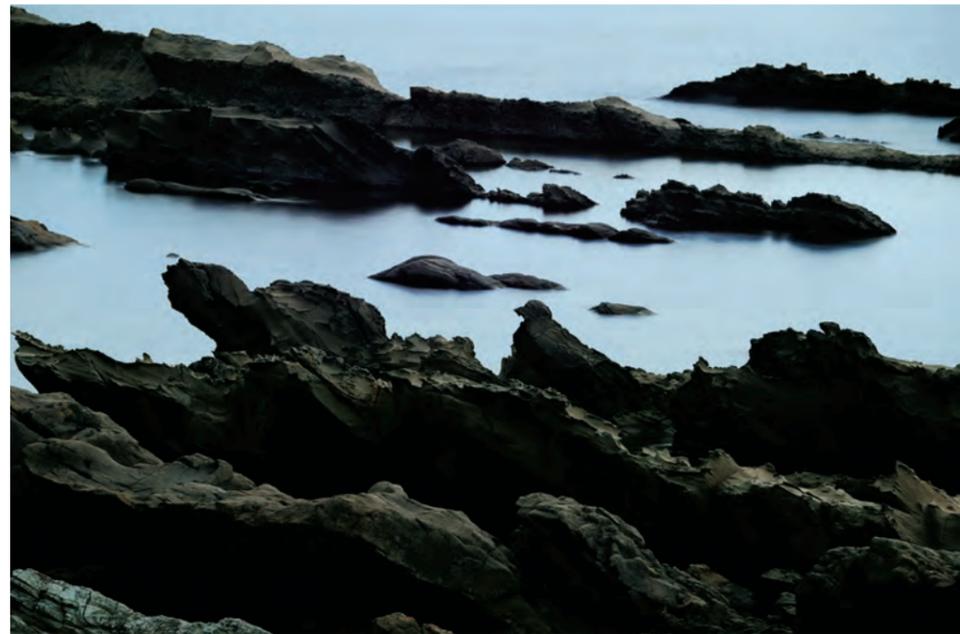
鉾島は、日本海の荒波に侵食された高さ約50mの柱状の岩場。遊歩道を気をつけて登っていけば絶景が目の前に。



糸崎の仏舞で有名な千手観音が亀にのって渡ってきたあと、その亀が島になったと伝えられる島。その名も、亀島。



一光川の上流にある五太子の滝。落差20mの断崖から落ちる水音が、鼓を打つ響きに似ているため、別名、鳴滝。



弁慶の洗濯岩。源義経と弁慶一行が奥州に逃れる途中、この洗濯板のような岩で汚れた衣を洗った、という逸話が。

自然ってすごい。 センスいい。

ふと思います。ひょっとすると、
自然は、地球最高のデザイナーじゃないかと。
越前加賀海岸国定公園の中にある、この武周ヶ池。
クリヤミズナラに覆われた湖岸の山と紅葉を
静かに水に映す神秘的な風景を見ていると、
自然ってセンスいいなあとしばし沈黙。



Bushugaike Pond

冬

福井が、ちょっと、面白くなってきた。

某CMに出たことで、一乗谷が有名になってきた
(2015年の秋には、「一乗谷レストラン」もオープン)。
新幹線が金沢まで来たことで、
北陸エリアが注目されるようになってきた。
ちょっと前までは、マイナーな地方都市だった福井。
でも、ここに来て、その魅力に気がつきはじめた人が
増えてきた。というのは気のせいかな？(いや…)

ちょっと黙れ。
とカニが言う。

越前ガニは、冬を代表する味覚。
福井で水揚げされた雄はズワイガニと呼ばれ、
雌はセイコガニと呼ばれます。
黄色いタグこそ、正真正銘の越前ガニの証。
解禁日は毎年11月6日の午前0時。
かくもうまい沈黙の時間が、ああ待ち遠しい。





冬の福井といえば、なんといっても越前ガニ料理。これを食べに遠方からわざわざ、という人も近頃増えています。



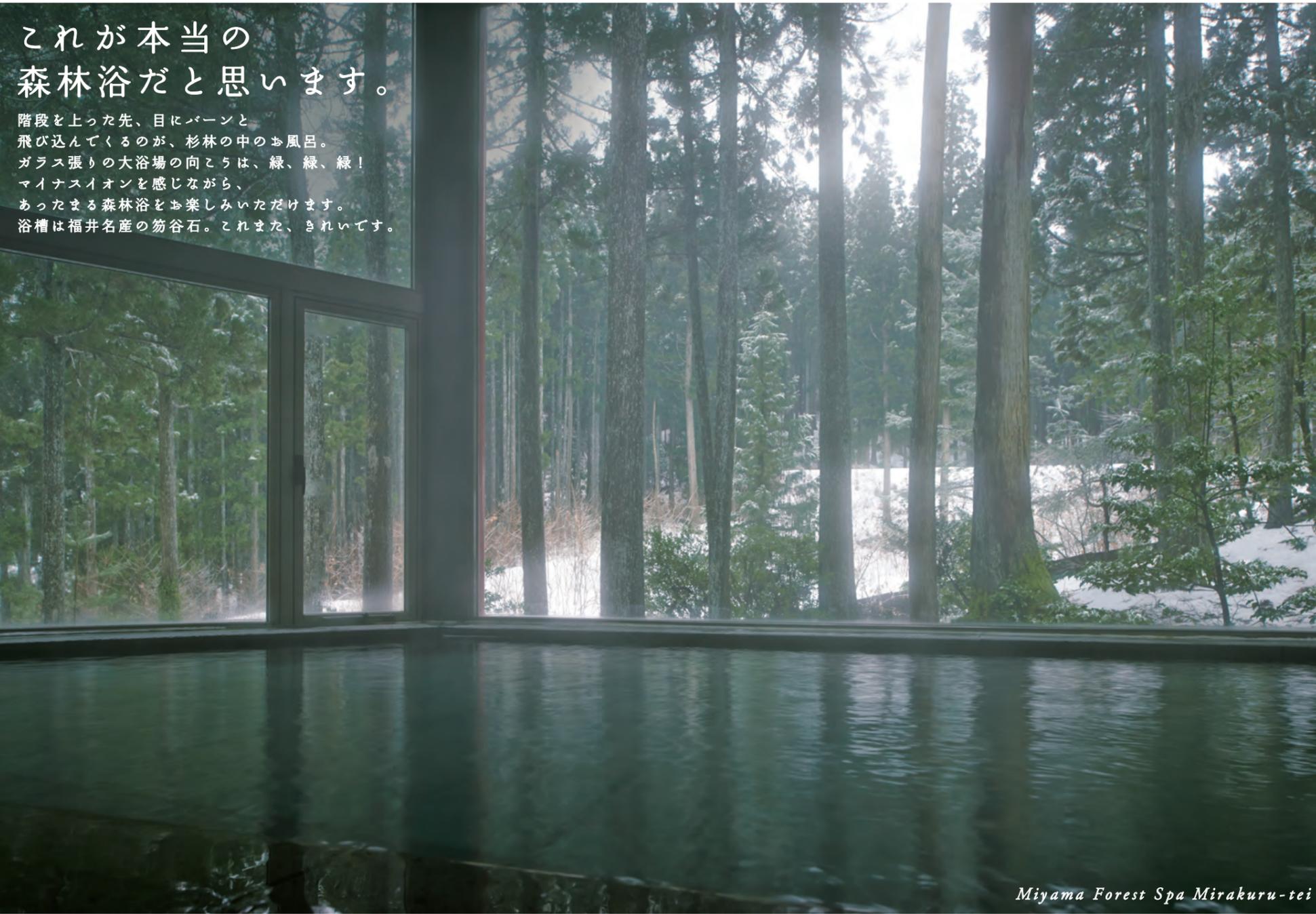
沈黙は時に雄弁。カニにむしゃぶりついていると、冬っていいなあと思います。カニみそがまたうまいんだよなあ。



越前水仙は、越前海岸に咲く水仙の総称。12月初旬に開花。1月中旬が見頃。凛としたその姿から、雪中花とも。



杉木立にひっそりと佇むのが、美山森林温泉みらくる亭。長い階段を上った先には、ちょっとビックリする光景が。



これが本当の 森林浴だと思います。

階段を上った先、目にパーンと
飛び込んてくるのが、杉林の中のお風呂。
ガラス張りの大浴場の向こうは、緑、緑、緑！
マイナスイオンを感じながら、
あったまる森林浴をお楽しみいただけます。
浴槽は福井名産の笏谷石。これまた、きれいです。



福井は米がうまい（コシヒカリも福井で生まれたお米）。足羽山の伏流水も豊か。つまり、お酒造りに適した土地。



市内には昔ながらの全量手造りの酒造も。機械にはつくれない旨さはある。いい職人の背中が、いいこと言います。



海の幸、山の幸が豊富な福井市。料理がうまい土地のお酒は、料理と相性のいいお酒になる。ぜひ、あなたも一献。



雪が降り積ると、一乗谷は、さらになにもない場所になります。白く、静謐で、美しい。絵画さながらの世界へ。

それでは、福井で、
お会いしましょう。

ここに紹介しきれなかったいいところ、
福井には、いっぱいあります。
なにより、いいひとがたくさんいます。
自然も、歴史も、海の幸も、山の幸も、
つるつるいっぱい福井市へ、
ぜひお越しください。お待ちしております。



Ichijodani Asakura Clan Ruins

FUKUI CITY GUIDE

1 足羽神社

Asuwa Shrine

継体天皇と坐摩神五柱を祀る、越前最古の歴史を有する神社。樹齢370年の枝垂れ桜と参道の紅葉は福井市の天然記念物。

2 足羽山

Mr. Asuwa

四季折々の豊かな自然と美しい眺望で、市民の散策コースとしても親しまれている福井市のシンボリック的存在。福井の歴史をたどることができる神社仏閣や石碑なども数多く点在している。夜景もまた格別。

3 足羽河原の桜並木

Asuwa River Cherry tree row

福井市の中心を流れる足羽川の堤防には、2.2kmにわたって約600本の桜並木がある。もともとは福井大地震からの復興を願う市民からの募金によって植えられたもの。桜が咲くころには満開のピンクのトンネルとなり、春まつりの期間にはライトアップも行われるなど、その優美な景観は、「日本さくら名所100選」にも選ばれているほど。

4 由利公正広場

Yuri Kimimasa (Kose) Square

幕末の福井藩の財政立て直しや五箇条の御誓文の原案ともなった「議事之体大意」の作成など、福井だけでなく近代日本の国づくりに大きく貢献

した由利公正。坂本龍馬も訪れたと伝えられる居宅跡の近くには、その功績をしのぶ銅像が置かれている。福井市毛矢1丁目(足羽川の幸橋南詰)

5 福井城址

Remains of Fukui Castle

福井城は越前松平家17代にわたる繁栄の舞台となった名城。徳川家康の二男・初代藩主結城秀康が慶長6年(1601)から6年とかけて築城。加賀前田藩に次ぐ68万石の大藩にふさわしく、四重の堀に囲まれた広大な城で、高さ約37m、四層五階の雄大な天守閣がそびえていた(12階建てのビルに相当)。現在は、本丸石垣と内堀のみが残されている。

6 養浩館庭園

Yokokan Garden

福井藩主松平家の別邸。国指定名勝。かつて舟遊びも楽しんだといわれる広大な園池を中心とした回遊式林泉庭園と数寄屋風書院造の建物からなる。米国の専門誌「ジャーナル・オブ・ジャパニーズ・ガーデニング」による2014年の日本庭園ランキングで5位に、08年からの3年間は3位に選ばれている名勝。福井市宝永3-11-36 休園日：年末年始(12月28日~1月4日) 開園時間：9時~19時(11月6日~2月末日は17時まで)

7 福井市中央卸売市場

Fukui-city Central Market

2014年11月から、「ふくい鮮いちば」として常時一般開放。新鮮な食材や旬のグルメを楽しむお買物の新定番スポットとしても人気。福井市大和田1-101 休場日：毎週日曜日・祝日・一部水曜日など。営業時間：8時30分~14時30分

8 大安禅寺

Daianzenji Temple

福井藩第4代藩主光通によって万治元年(1658)に創建された臨済宗妙心寺派の寺。国指定重要文化財の羅漢図を含む数百点の文化財が保存されている。また、歴代藩主の墓所「千量敷」がある。福井市田ノ谷町21-4

9 越前海岸

Echizen Coast

長き時間、そして風と波の浸食によってつくられた奇石や断崖の続く越前海岸。日本海を中心とした回遊式林泉庭園と数寄屋風書院造の建物からなる。米国の専門誌「ジャーナル・オブ・ジャパニーズ・ガーデニング」による2014年の日本庭園ランキングで5位に、08年からの3年間は3位に選ばれている名勝。福井市宝永3-11-36 休園日：年末年始(12月28日~1月4日) 開園時間：9時~19時(11月6日~2月末日は17時まで)

10 亀島

Gamejima Island

「かめじま」ではなく、「がめじま」。年間を通して、多くの釣り人で賑わう人気スポット。福井市大和田1-101 休場日：毎週日曜日・祝日・一部水曜日など。営業時間：8時30分~14時30分

柱状節理が発達した安山岩の島。頂上への道は細く急だが、上からの見晴らしたるや格別。

12 弁慶の洗濯岩

Benkei-no-Sentaku-Iwa

日本海の浸食によってできた奇岩。波が岩に砕け散るダイナミックな景観を堪能できる。

13 五太子の滝

Gotaishi Waterfall

断崖から豪快に落ちる北陸の名瀑。国道から滝へと続く遊歩道にはあじさいが咲き誇る。

14 志津川橋

Shidugawa Bridge

福井駅前から京福バス菜崎線78に乗り、志津川橋バス下車。桜の季節に、ぜひどうぞ。

15 西雲寺

Saiunji Temple

かつて福井藩主から官職格式を与えられた、約330年以上の歴史をもつ古刹。樹齢200年といわれる市指定天然記念物の枝垂れ桜目当てに訪れる人も多い。福井市武周町5-2

18 一乗谷朝倉氏遺跡

Ichijodani Asakura Clan Ruins

戦国大名朝倉氏一族が5代103年にわたって支配した城下町跡。戦国時代の山城と城下町が良好な状態で残されていると認められたため、昭和46年山城跡を含む延べ278ヘクタールが国の特別史跡に指定され、南陽寺跡庭園、湯殿跡庭園、諏訪館跡庭園、館跡庭園の4庭園が国の特別名勝に指定され、また、出土した調理具、飲食具、陶磁器、将棋駒など2343点が国の重要文化財に指定されている。これら3つの指定を受けているのは全国で6ヶ所のみ(他は、金閣寺、銀閣寺、醍醐寺、厳島神社、平城宮跡)。最盛期には人口1万人を超え、京に勝るとも劣らない「朝倉文化」を花開かせた。5代義景の時には、後の足利15代將軍義昭の元服式を朝倉館で執り行うなど、その威を天下に示したが、天正元年(1573)織田信長に刀根坂の戦いで敗北し、城下は火を放たれ三日三晩燃え続けた後、地中深く眠りについた。2年後、織田信長から越前の統治を任された柴田勝家は、居城を北の庄(現・福井市中心部)に構え、政治・文化の中心を全て移し

ため、一乗谷は歴史から忘れ去られていく。そして、約400年後の昭和42年、奈良国立文化財研究所の指導で、本格的な発掘調査が行われて以来、当主の館をはじめ、武家屋敷、寺院、町屋、職人屋敷、さらにそれを結ぶ道路に至るまで、戦国時代の町並みが当時のままのほぼ完全な姿で発掘された、日本で唯一の場所であり、その価値は高い。福井市城戸ノ内町28-37 休園日：年末年始(12月28日~1月4日) 開園時間：9時~17時

19 一乗滝

Ichijo Waterfall

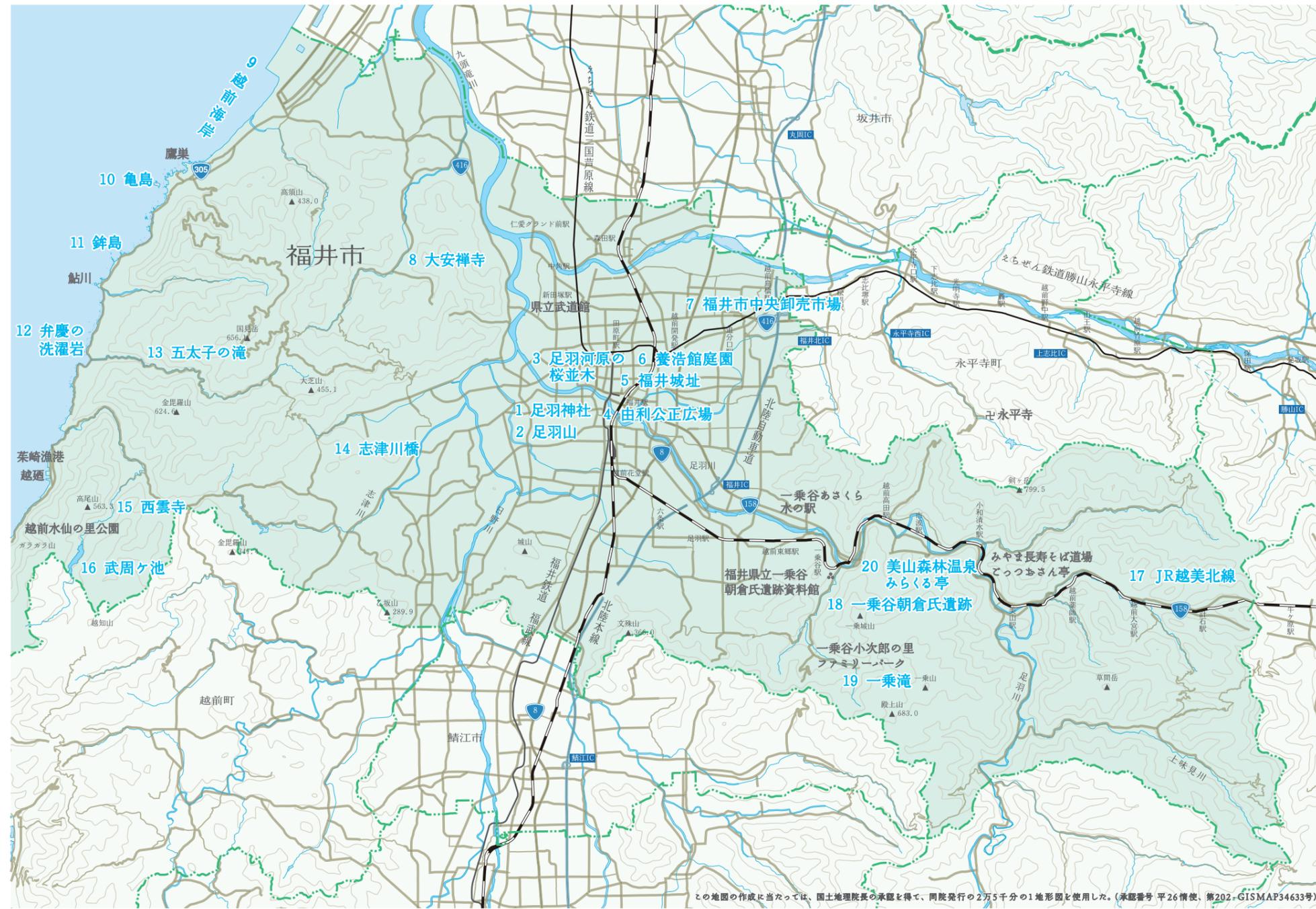
落差17mの荘厳な水の糸を引く、幅2mほどの滝。泰澄大師がこの地で修行し、滝を開いたと伝えられる。宮本武蔵のライバル・佐々木小次郎が修行した場所としても有名。

20 美山森林温泉みらくる亭

Miyama Forest Spa Mirakuru-tei

福井市市波町38-2 休館日：なし 営業時間：6時~9時、10時~21時(毎週火曜日15時30分~21時) 日帰り・宿泊可

福井市おもてなし観光推進室 〒910-8511 福井市大手3-10-1 TEL: 0776-20-5346 FAX: 0776-20-5323 kankou@city.fukui.lg.jp



FUKUI
CITY
GUIDE